



# 各大学の取り組み発表

## ⑨ 名古屋経済大学



テーマ

# 地産地消に関するエシカル消費の研究と啓発

経済学部学生研究室地域政策チーム

1. 当初の目標
2. 実施方法、企業等への働きかけ等
  - (1) 共同での地産地消の実践と検証
  - (2) 「地産地消」の認識
3. 実施状況や結果
  - (1) 近隣地域との共同で地産地消活動
  - (2) 普及啓発活動
4. 実施した体験の成果や今後の展開



# 1. 当初の目標

学生研究室のテーマ設定

「地産地消」（2年目）

→身近な野菜や米など農作物の生産と消費を実践しながら普及啓発を考える

# 2. 実施方法

## （1）共同での地産地消の実践と検証

- ・地産地消関連の事業者との協力体制を構築しつつ、共同での地産地消プロジェクトを実践する
- ・学生の視点で地産地消にどう関わることができるのかを検証

## （2）「地産地消」の認識

- ・地産地消の認識を消費・生産分野に分けて、地産地消度をはかってみる
- ・地産地消の実践の中で、消費者の意識を把握する

# 3. 実施状況や結果

## (1) 近隣地域との共同で地産地消活動

新鮮な野菜を収穫してみよう!

8/24 [土] 夏野菜 収穫体験

参加無料 家族限定 10

新鮮なお野菜は 美味しいよ!

お申し込みは右のQRコードから

当日のプログラム	概要
<ul style="list-style-type: none"><li>畑のお話</li><li>収穫方法の説明</li><li>収穫体験 (きゅうり、トマト、ナス、ピーマン)</li><li>お野菜の試食 (冷えたものをご用意します)</li></ul> <p>お持ち帰りできるよ!</p>	<p>開催日時: 2024年8月24日 (土) 10:00-11:30</p> <p>参加費: 無料</p> <p>定員: 10家族</p> <p>開催地: 名古屋経済大学 敷地内農場</p> <p>※軍手、収穫用ハサミをお持ちの方はご持参ください。</p> <p>※事前申し込み制 (上記QRコードからお申し込みください)</p> <p>お申し込みは先着順となります。8月21日を目途に事前確認のご連絡をメールにてさせていただきます。</p>

主催: こまき地産地消プロジェクト 共催: 小牧市、名古屋経済大学 学生研究室

### ① 学内農地での収穫体験企画

#### ■ 共同で野菜栽培～収穫まで行う地産地消の企画

- ・ 市民活動団体「こまき地産地消ショープロジェクト」に参加
- ・ 地産地消の企画を共同検討し収穫体験を計画
- ・ 無料での実施

➡ 企画参加⇨地産地消のナッジになる

➡ 収穫体験日まで野菜が上手く育たないなど農地管理の問題

➡ 気候や作業時間の制限



収穫体験当日の様子



### 3. 実施状況や結果

#### (1) 近隣地域との共同で地産地消活動



#### ②大学祭での地産地消の紹介

・小牧市の「東部地域でつながりやってみようプロジェクト」に参加  
→小牧の特産品で**地産地消活動**を！

➡特産品である桃やブドウを使って  
オリジナル商品を作りたい！

#### ■しのおかの桃を使ったジッパードリンク・ジャムの販売

【結果】

- ・ジッパードリンク(400円) 113杯販売 (完売)
- ・ジャム(1500円) 33個販売 (17個売残)

【課題点】

- ・保健所からの指示を想定した上での企画が出来なかった
- ・ジャムが売れ残ってしまった(価格設定での問題)

地域で桃の仕入れ・大学の調理室を利用して製造

## 3. 実施状況や結果

### (1) 近隣地域との共同で地産地消活動



### ③ トマトハウスでの栽培体験

・ 犬山市地域農業活性化事業を体験（シルバー人材センターの事業）

■ トマト栽培の体験（冬期の11～1月の3カ月間）

・ **地産地消の体験**（商業ベースの生産プロセスの理解）

・ 糖度が高い犬山市のブランドのトマト【おいしい花子】

➡ 植物の構造を学習（体験）

・ **脇芽取り等の生産管理のプロセスの一部を体験**

（余分な葉は実への栄養を奪ってしまう。高さを揃えることでトマトハウス内全体のトマトに日光が当たるよう管理）

➡ 一つ一つの手作業がとても大変（手間と時間）。

➡ 収穫期後の内部の撤去作業（重労働）での協力の可能性あり

（今後は生産プロセスへの関わり方を検討）

・ **収穫作業や包装作業までは体験できていない**

➡ 収穫体験できるようなイベントがあると、**地産地消**の普及啓発につながる印象

### 3. 実施状況や結果

#### (2) 「地産地消」の認識の実際



#### ①消費生活フェアへの出展

##### ■地産地消活動をブースで発表

- ・地産地消活動の紹介（収穫体験、名経米ゴーフレット）、大学祭での桃ジャムとジッパードリンクの販売をPR
  - ・ブースへ訪れた方に**地産地消度**を聞いてみた（アンケート回答（93件））
  - ・アンケートを集計・分析
- ➡消費分野の行動経験がある人は多い。  
生産に関する関心が高くても行動経験は少ない。  
(次スライド参照)

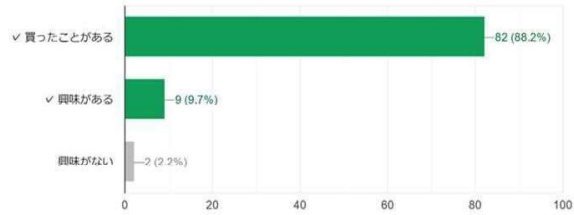
## 消費分野

### 消費生活フェア（つづき）

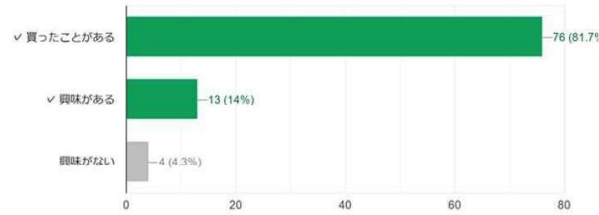
### ②消費・生産分野に分けて地産地消度を聞いてみた

## 生産分野

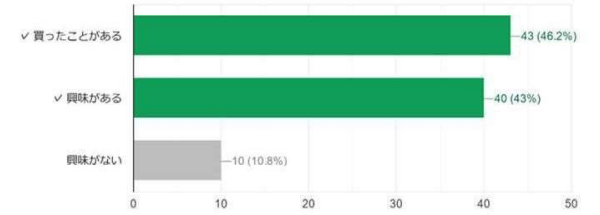
地元のスーパーで 地元野菜を購入  
正解 91/93 件



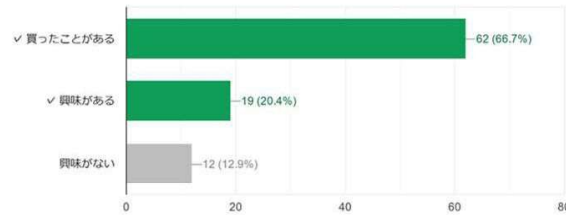
直売所で 地元野菜を購入  
正解 89/93 件



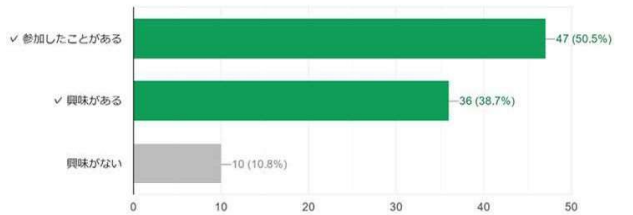
農地近隣での無人販売所で 購入  
正解 83/93 件



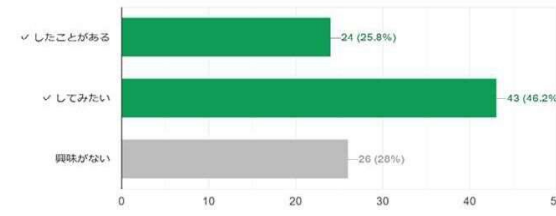
マルシェ・朝市などで 地元野菜を購入  
正解 81/93 件



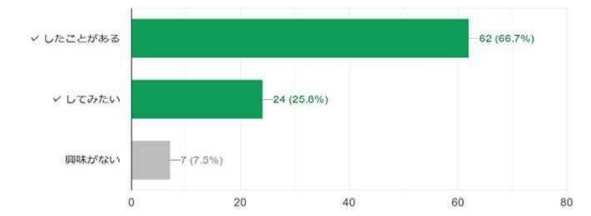
農地での収穫体験・イベント  
正解 83/93 件



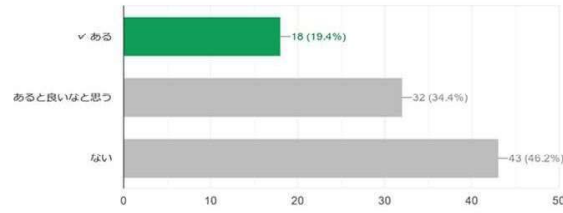
知り合いなどの農地で栽培  
正解 67/93 件



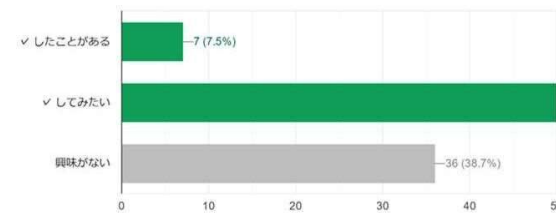
家で野菜を栽培  
正解 86/93 件



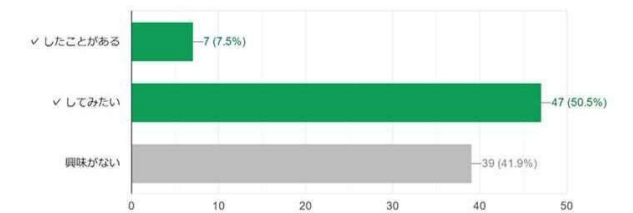
近隣の農家と関わりがある  
正解 18/93 件



市民農園などで作物栽培  
正解 57/93 件



一般の農地で生産体験（オーナー制度など）  
正解 54/93 件





### 3. 実施状況や結果

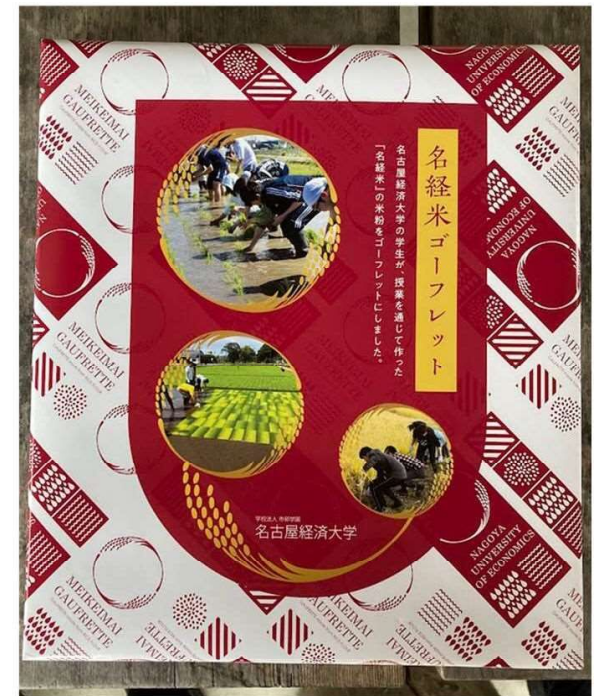
#### (2) 「地産地消」の認識の実際

#### ② 楽田コミュニティでの活動

#### ■ クリスマス会【12/22午後】にて小学生低学年

#### 約50名にエシカル消費の紹介

- ・ 名経米ゴーフレットを配布  
(名古屋経済大学が育てたお米を使用して作ったお菓子)
  - ・ 「地元で採れたものは地元で食べよう」と伝えてゴーフレットを配布
  - ・ エシカル消費についても教えていく中で小学生に伝えることが難しかった
- ➡身近なものを例として分かりやすく伝えていく必要あり
- ➡簡単な言葉と図解などの説明を検討



## 4. 実施した体験の成果や今後の展開

### 地産地消の実践

- ・ 体験参加者の中に自家栽培に興味を持っている人がいた
  - ➔ 体験をきっかけに地産地消が広がる可能性は有り
  - ➔ 地元農家などと協力して農業のノウハウを享受できる機会があると良い
- ・ 収穫体験だけではなく、植え付けから栽培の生産プロセスを体験できるようにしたい
  - ➔ 地元コミュニティなどで収穫野菜を提供する仕組みを考えられないか
  - ➔ イベントだけではなく、日常的に共同で農地を運用が出来るのではないか

### 地産地消度アンケート

- ・ 消費分野・生産分野ともに関心度は高めであった
  - ➔ 生産分野において実施できる人は少なめ？
  - ➔ 学校の授業等で各自野菜を育てる体験を提供出来ると良い
- ・ 農地運営の経験から、管理の難易度を下げることができれば、地産を広げられそう  
【栽培するもの・農地の広さ、共同での作付け検討など】



# 各大学の取り組み発表

## ⑩ 名古屋女子大学



名古屋女子大学 消費者教育ゼミナール

地産地消を広めるエシカル消費啓発活動の提案

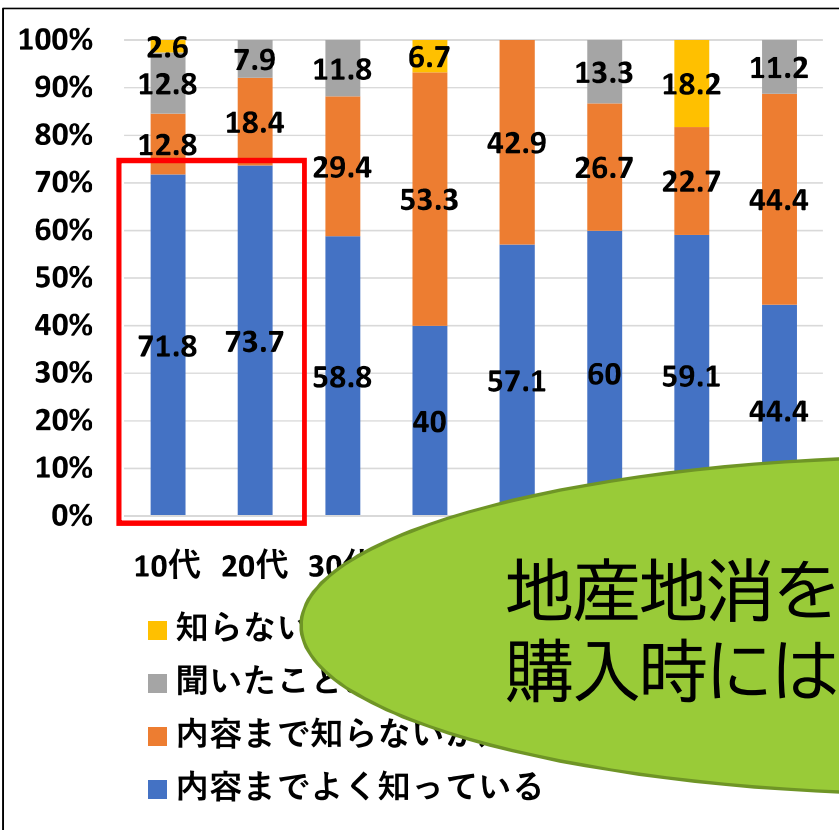
# 地産地消に対する意識

## 【地産地消に関するアンケート調査】

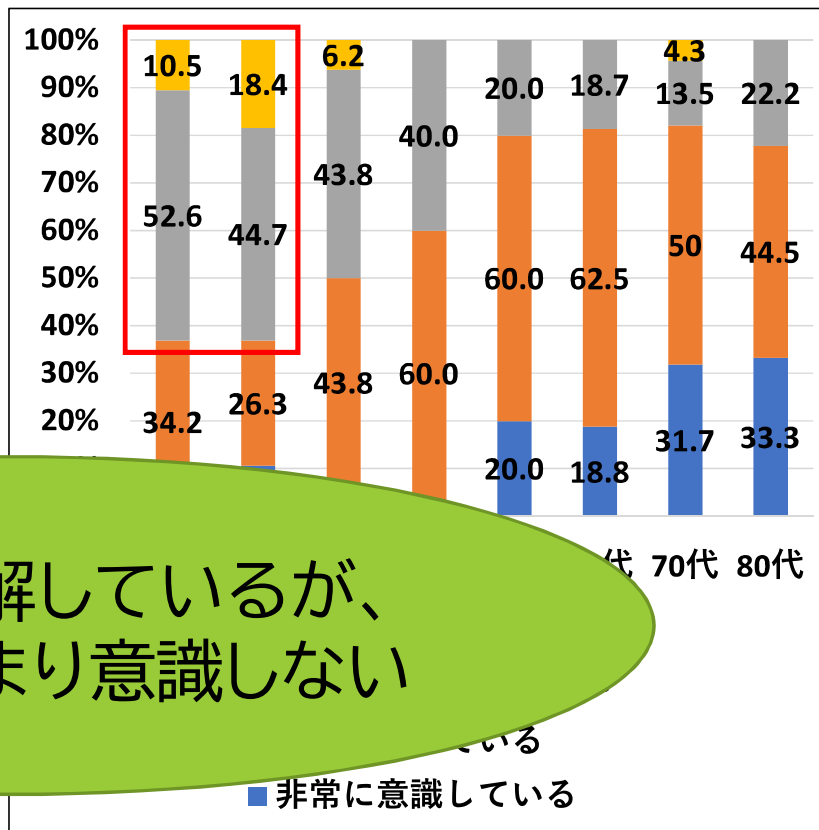
### 実施場所(対象者)

- ①名古屋市オアシス21(なごやエシカルフェア★2024来場者)
- ②名古屋女子大学 (生活環境学科2年生)
- ③パロマ瑞穂野球場 (瑞穂区民まつり来場者)

## 年齢別の地産地消の理解



## 購入時の地産地消の意識



地産地消を理解しているが、  
購入時にはあまり意識しない

- ・「内容までよく知っている」は全体で50%以上
- ・10代と20代は約70%

- ・10代と20代は意識していない人が約50%

# 地産地消を広める取り組み

## 【啓発活動】

### 実施場所(対象者)

- ①名古屋市オアシス21 (なごやエシカルフェア★2024来場者)
- ②パロマ瑞穂野球場 (瑞穂区民まつり)
- ③豊橋市立津田小学校 (6年生)

## ①なごやエシカルフェア★2024



パンフレットを使ってエシカル消費の説明



配付したパンフレット(①・②)

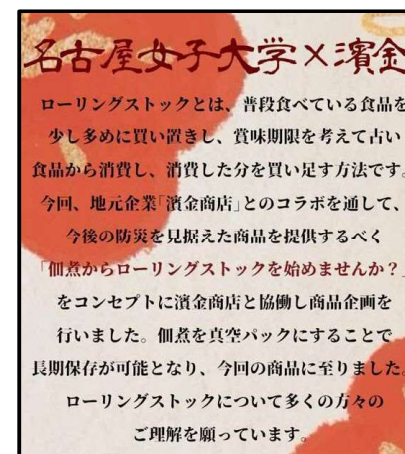


「大葉ちりめん」「大葉あさり」  
豊橋産の大葉を使用

## ②瑞穂区民まつり



地産地消と食品ロス(ローリングストック)  
からエシカル消費を説明



配付したパンフレット(②)



### ③豊橋市立津田小学校での授業

テーマ:「一人ひとりができるエシカル消費を考えてみよう」

内容:

「エシカル消費」について全体説明



「エシかるた」を使ったグループ活動



ワークシートを使ってのまとめ



# 啓発活動に対する理解：

**環境に配慮した物選ぶ**  
**豊橋津田小でSDGs授業**  
 大学生がエシカル消費解説

豊橋市立津田小学校6年生が27日出前授業。一人ひとりができるエシカル消費を考えてみよう」を受け、教えたのは名古屋女子大学三宅亨子教授の消費教育ゼミの4年生。身の回りで見られるSDGs（持続可能な開発目標）に役立つ行動を学んだ。

エシカル（ethical）は「倫理的、道徳的」の意。人や社会、地球環境、地域に配慮して作られたモノやサービスを選んで使う。エシカル消費のこと。

「エシカル消費について解説。具体的な例としてフェアトレードやレッドカップ運動、エコマーク、グリーンマークなどを学んだ。商品パッケージについている社会や環境に貢献する制度とその仕組みについて話した。」

児童はゼミ生手作りの「エシカルにも挑戦」「セットボトル」「リミックス」「再利用」「マイボトル」を制作し、エシカル消費について話した。

「エシカル消費について話した。児童はゼミ生手作りの「エシカルにも挑戦」「セットボトル」「リミックス」「再利用」「マイボトル」を制作し、エシカル消費について話した。」

エシカルに挑戦する津田小児童（職場体験学習中の吉田方中学2年、左野太我さん撮影）

「エシカル消費について話した。児童はゼミ生手作りの「エシカルにも挑戦」「セットボトル」「リミックス」「再利用」「マイボトル」を制作し、エシカル消費について話した。」

【岸信雄】

令和6年11月28日東愛知新聞

**「エシカルな」で学ぶ**  
**豊橋 名古屋女子大 津田小でSDGs 出前授業**  
 エシカルな消費

豊橋市立津田小学校で27日、名古屋女子大学生活環境学科の4年生らが、6年生22人を対象にSDGs（持続可能な開発目標）の普及に努めるサークル「エシカル」のメンバー。6年生は、渡辺さんが制作したエシカルな消費に関するカードゲームを使って、エシカル消費について学んだ。

その後、気になった商品を身近で探して、身近でできるエシカル消費を調べ、発表し、地域貢献活動しよう。地域貢献の札を選んだ。

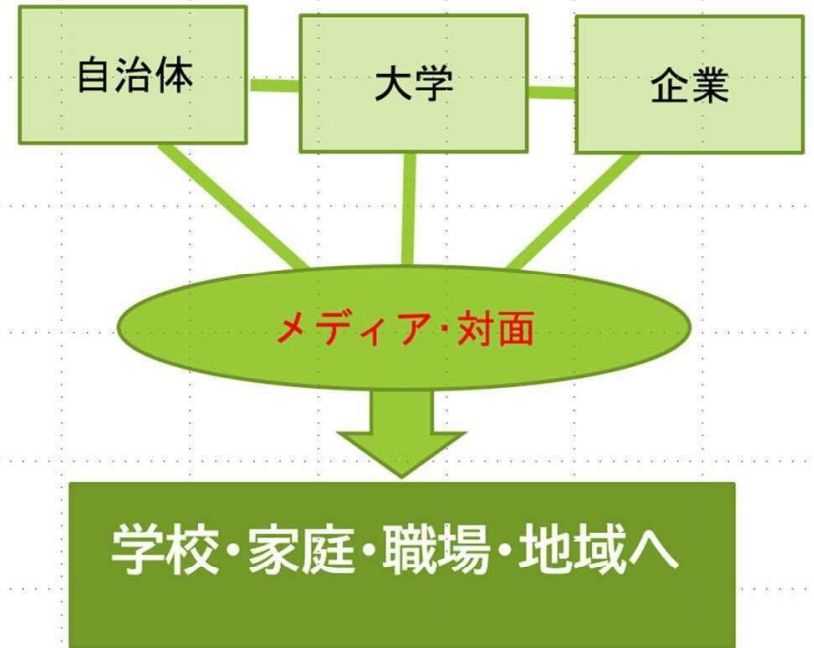
「エシカル消費について話した。児童はゼミ生手作りの「エシカルにも挑戦」「セットボトル」「リミックス」「再利用」「マイボトル」を制作し、エシカル消費について話した。」

「エシカル消費について話した。児童はゼミ生手作りの「エシカルにも挑戦」「セットボトル」「リミックス」「再利用」「マイボトル」を制作し、エシカル消費について話した。」

【岸信雄】

令和6年11月28日東海日日新聞

## 持続可能な社会を構築する エシカル消費



## まとめと今後の課題

・アンケート調査から地産地消の・・・

認知度は高い

購入時には  
意識が低い  
(あまり意識し  
ていない)

・イベント会場での啓発活動は、年齢や興味・関心に応じた説明が必要。

・子どもたちを対象とした啓発活動では、クイズやゲーム感覚で「エシカル消費」への理解を深める工夫が重要。

### 今後の課題

- ①特産物に関してSNS等での発信
- ②企業との協働や地域住民の声を活かした持続可能な体制づくり
- ③オンラインやSNS広告等を活用しターゲット層の拡大



# 各大学の取り組み発表

## ⑪ 名古屋市立大学



12 つくる責任  
つかう責任



14 海の豊かさを  
守ろう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# 循環社会の実現を目指して

～資源循環・資源使用抑制に向けた取り組み～

名古屋市立大学人文社会学部 伊藤ゼミ

Global Justice Project



# 私たちの考えるエシカル消費の姿

## 循環社会の実現

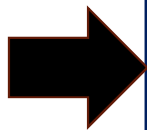
モノを作る段階からリサイクルや再使用を前提に考えられ、  
新しい資源を使わずにモノを生産できるような経済システムを持つ社会

## プラスチックゴミ問題

- ・ 海洋生物への被害
- ・ 先進国から途上国への輸出の問題
- ・ 人間自身への影響

⇒ 資源の適正な循環がされていないことが原因

循環を逸脱することは、他者に危害を加えることであり正義に反した状態である



水平リサイクルの促進、そもそもの使用量削減を目指す

## 町中の様子

- ・プラスチック製のリサイクルボックス破損
- ・リサイクルボックスが有効に機能していない



## リサイクルボックス

**Coca-Cola**  
BOTTLED BY  
BOTTLEDERS JAPAN INC.

&

**ALCO**

のご協力のもと

ラベル・キャップ・ボトルの「**3分別**」できるボックスを  
昨年度（2023年度）作成



## リサイクルボックス・じゅんちゃん



Point 1 | セイウチとハイタッチでごみ投入

子どもにも興味を持ってもらえるデザイン

Point 2 | 段ボール製であることをより強調

クレヨンで着色：より親しみやすくリサイクルしやすく

Point 3 | 海の中にあるデザイン

海洋プラスチック問題をアピール

Point 4 | 中身が見えやすい構造

心理的に異物を入れづらく



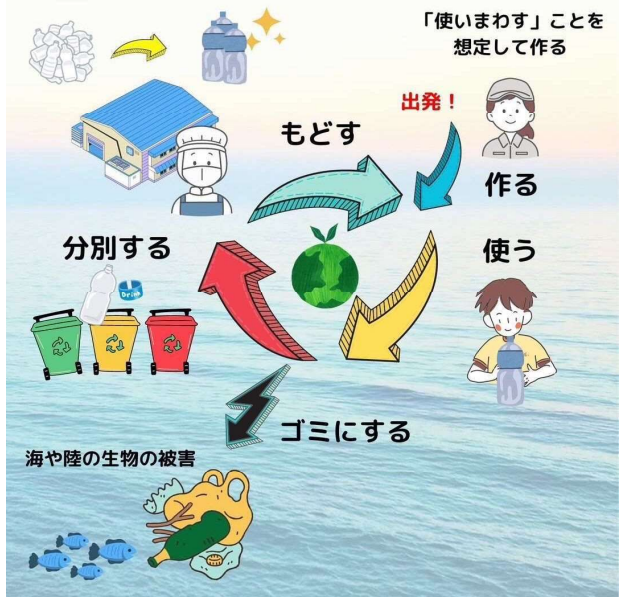
## にっぽんど真ん中祭り・ エシカルフェア

- ・ 多くの人に水平リサイクルを体験してもらう
- ・ 啓発グッズの配布
- ・ 簡易的なアンケート実施



「使い捨てず」に「使いまわす」  
未来を守る、循環の輪

What's 「循環型社会」



## 給水機の設置



- マイボトル持参を促進：  
ペットボトルの消費量削減
- 名古屋市環境局と連携：  
学内に来年度に設置予定

## ペットボトルキャップの活用



- リサイクルボックスで回収した  
キャップをワクチンに変える
- マックスバリュと連携

## 今後の展開 | 更なる「循環社会」の促進に向けて

### 「循環社会」の認知度向上に向けて

- ・ リサイクルボックスの積極的な活用
- ・ プラスチック使用量の根本的削減
- ・ 他分野への参加

今後も、SDGs 推進に向けてチャレンジを続けていきます！

### ご協力いただいた企業・団体

コカ・コーラボトラーズジャパン（株） 様  
レンゴー（株）豊橋工場 様  
名古屋市 港区役所 様

にっぽん ど真ん中祭り文化財団 様  
株式会社 マルワ 様  
名古屋市環境局 様  
マックスバリュ 瑞穂桜山店 様